



社団法人発明協会 第30回未来の科学の夢 絵画展 幼稚園の部 奨励賞「宇宙へ！スーパーカー！」

北方幼稚園（愛知県一宮市）大森 咲歩ちゃん

「ちょっとそこまで買い物に！」地球を飛び出して宇宙へ出発。

ガソリンスタンドでつめてもらうのはお星様だから、空気も全然汚れないんだよ！

HEART REPORT

第52期 報告書

[平成20年2月1日～平成21年1月31日]

証券コード：7956

CONTENTS

トップインタビュー……………	1
事業一覧……………	3
特集……………	5
連結財務ハイライト……………	6
連結財務諸表……………	7
個別財務諸表……………	8
株主広場……………	9
会社概要……………	10



代表取締役社長

大越 昭夫

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃のご支援に対して、厚く御礼申し上げます。

経営環境は引続き不安定な状況にありますが、当社グループは、グローバル・カンパニーへの飛躍を目指す「第三次中期経営計画」の2年目として、事業戦略および、その基盤となる機能戦略を、着実に、また、経営環境の変動に対しスピー

ドを持ち、臨機応変に施策を実行してまいります。

特に、成長分野と位置づけております海外事業に関しましては、積極的な事業投資を継続してまいります。HHC・介護用品事業に関しましては、統一的なマーケティング戦略のもと、グループ事業運営体制の一層の強化を進めると共に、将来の事業成長の核となる新ブランド「リクープ」の育成に積極的に経営資源を投入してまいります。

株主の皆様におかれましては、これまで同様、当社グループの事業活動に対するご理解と、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経営理念

「愛」

妊娠、出産、子育て、そして介護を通して、

手助けを必要とするすべての人々に、

『愛』を具体的な商品やソフトサービスの形にして提供する

ピジョングループの強みを大切にしつつ、安定成長をめざします！

Q このたびの世界的な金融危機に端を発する不況突入が、ピジョングループの事業展開に及ぼしている影響についてお聞かせください。

おかげさまで、当社グループは不況には強い体質のようで、今のところ心配はありません。グローバルに見れば、赤ちゃんはどんどん誕生していますので、あまり深刻な問題とは捉えておりません。

Q 第52期の業績についてお聞かせください。

この一年を振り返りますと、さまざまな業界の多くの有力企業が大変な状況にあるこの時期に、順調な業績を上げることが出来たので、改めて、当社グループの強さと社員の頑張りを実感することが出来ました。

具体的には国内育児事業では、戦略策定・実現力の強化と市場対応力の強化を推進し、海外育児事業では、中国を中心とした東アジアおよび北米市場を中心に積極的に事業を拡大いたしました。また、ヘルスケア事業では、老化予防用品の新ブランド「リクープ」の一層の認知拡大に努めました。

その結果、売上高530億92百万円(前期比7.8%増)、経常利益42億93百万円(同35.1%増)、当期純利益28億54百万円(同94.0%増)となりました。

Q 経営環境激変の中で、「第三次中期経営計画」の1年目が終了しましたが、その進捗状況と今期以降の計画修正の有無についてお聞かせください。

「第三次中期経営計画」の初年度はおおむね計画どおりに進捗いたしました。残りの2年間については、基本的に変更はありません。ただ、3年目に目標の640億円を達成するため、2年目の第53期は「仕込みの年」と位置づけて積極的に設備投資を行う予定です。

今後とも、私が最終到達目標として掲げている売上高800億円の達成に向けて着々と歩みを進めます。

Q ピジョングループのグローバル戦略の中核マーケットである中国市場での事業展開の現状と将来展望についてお聞かせください。

最近、当社グループは日本企業のなかでも比較的優位に国際舞台でも戦える会社であるということを実感しています。

中国ビジネスを考える場合の基本は、誕生する赤ちゃんの数です。日本は年間の出生数が100万人強なのですが、中国は統計が無く、正確ではないものの1,500万人から2,000万人といわれています。ターゲットとしている富裕層層がそのうちの10%としても150～200万人です。現在、年間出生数100万人規模のわが国のベビー・カテゴリーの売上規模が200億円であることから、将来的な中国市場の規模はその倍の400億円と考えられるわけです。

もちろん、中国市場にも競争相手がいますが、「母乳に一番近い乳首の哺乳びんはピジョン商品である。」という自信のもとで積極的に販売活動を展開し、お客様にも共感していただいています。お客様から「他社の哺乳びんでは全く飲まなかったけど、ピジョンさんの“母乳実感”という哺乳びんで飲ま



せたら美味しそうに飲みました！」というお手紙をいただいた時は本当に嬉しかったですね。

Q 同じくグローバル戦略を担っている米国、欧州、東南アジアの各市場を含む海外市場での事業展開の現状と展望についてお聞かせください。

実は、0歳から24ヶ月児までは世界各国、どこでもピジョンの商品の対象となるマーケットです。現在、海外事業部門が順調に伸びている理由は、お客様のニーズにお応えできる商品をご紹介します、受け入れていただいているからです。

海外市場への進出については、今年はインド、そしてロシアなどBRICS諸国については検討を始めたところで、ブラジルについても市場調査を開始します。全ては日本で培ってきたビジネスモデルを世界に水平展開している形です。日本の消費者は世界で一番厳しい目をお持ちですので、マーケットとして最先端であります。日本市場で受け入れられる新しいビジネスモデルを創り出すことが必要です。

Q 国内では少子化が進んでいますが、国内育児事業における戦略や取り組みについてお聞かせください。

私は海外売上高比率の上限は50%までと考えています。それ以上を海外に依存することは経営としては、為替リスク、マーケットリスク、カントリーリスクなどいろいろな面で問題となるからです。

当社グループは、国内売上がゆるやかな成長である一方で海外売上が順調に拡大していますので、どこかの時点でフィフティ・フィフティになり、そのまま進捗すると海外部門が国内部門を上回ります。ちなみに、海外部門の第52期の売上比率は33%を超え、第53期には35%近くの水準を計画し

ています。もちろん海外事業はブレーキをかけずに進行しますので、現在、国内事業部門の社員を激励するとともに、「リクープ」ブランドの強化や国内ベビー分野でのエイジアップを推進するなど力を注いでいるところです。

Q 社内の結束、社員の皆さんのきずなの強化に向けた「商品説明コンテスト」についてお聞かせください。

昨年からスタートしたのですが、始めた理由は、当社グループも次第に規模が大きくなり、社員同士のきずなを深める何かが必要だと考えたからです。「当社グループのコア・コンピタンスは開発力である」との考えに立つと、商品の魅力をきちんとお客様に説明できることが大切であり、さらに、部門代表者によるコンテストとし、当日までの過程において部門の社員全員が協力し、応援することで、きずなが深まると考えたわけです。

実は、40年近い昔に実施したことがあり、第1回の優勝者は何と私でした。説明は営業関係のスタッフが上手であるとは限りません。全社員がそれぞれに力をつくした結果として発表の出来映えも、きずなの構築も、私の期待を大きく上回りました。自社商品への理解も深まり、愛社精神の高揚にもつながり、楽しいイベントとなりました。今年も実施する予定です。

Q 大幅な増配で株主の期待に応えられましたが、今後の株主還元についての基本的なお考えについてお聞かせください。

株主還元については、「中期経営計画」の最終年度(第54期)で、連結総還元性向50%の達成を目標にしています。その水準に照らしてバランスが取れるように配当額を調整していくことも当然必要だと思います。もちろん、場合によっては、企業の規模拡大のために投資も行ないますが、基本的には、内部留保は最低限に留め、余裕資金をたくさん残すことはしないで株主の皆様へ還元

する方針です。

Q 最後に、株主・投資家の皆様にメッセージをお願いいたします。

株主の皆様には、日頃より当社グループをご支援いただき、誠にありがとうございます。私どもは、企業としての成長の余地も大きく、当然、変化率も大きいと考えております。

第53期を「仕込みの年」と位置づけて、「中期経営計画」の目標達成を期して、グループ全体のベクトルを合わせ、当社グループならではのビジネスモデルをグローバルに展開してまいります。

将来に向けて、夢のある魅力的な企業グループであり続けることを目指して、株主の皆様のご期待にお応えする所存ですので、今後とも、私どもの事業を見守っていただき、当社グループを大きく育てることにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

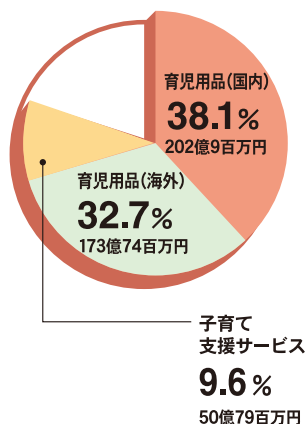


● セグメント別状況 連結売上高 530億92百万円

● 事業区分

育児事業

● 売上高・売上比率



80.4%
426億63百万円

● 業績の概要

■ 国内育児用品事業

国内育児用品事業では、ブランドロイヤルティの向上を目的としたダイレクト・コミュニケーションに注力しており、「マタニティ・イベント」の開催や「クチコミ コミュニティサイト」である「ビジョンインフォ」の会員登録数の拡大に注力しており、加えて、IT通販の「ビジョン・モール」においては、オリジナル品および新規商品等を投入し売上拡大の基盤作りに注力しています。また、商品のライン拡充としては、母乳パッド「はじめてのフィットアップ」「全身ベビーソープ しっとり泡タイプ」ベビーより年齢の高いお子様向け商品「ジェル状歯みがきぶちキッズ」等の新商品を積極的に発売してまいりました。しかしながら、年度後半の急速な景気後退の影響等もあり、売上高は前年実績に届きませんでした。

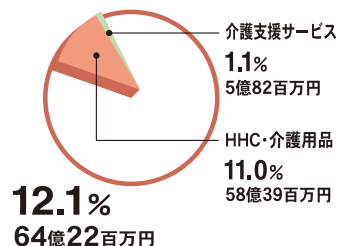
■ 海外事業

地域別売上実績では、中国、アメリカを始めとするほぼ全てのエリアにおいて順調に伸長させ、円高の影響はあるものの前年実績を上回りました。中国では、平成19年12月に上海の新工場が竣工しスキンケア・トイレタリー商品、乳首等の量産・出荷を順調に拡大しており、さらなる生産体制整備のための二期工事の計画も発表しました。さらに、中国北方エリアの事業拡大に伴い、新たな営業拠点を昨年9月に北京に開設しております。北米での展開はアメリカの景気減退の影響を懸念しましたが、順調に推移しております。さらなる海外事業拡大のための重点課題としている新規市場進出についても、昨年12月に駐在員事務所をインドに開設し、本格的な情報収集、販路拡大およびブランド構築活動に着手しております。

■ 子育て支援サービス事業

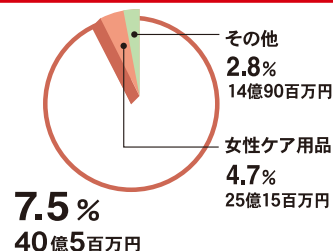
事業所内保育園の運営受託を中心に営業活動を行っており、7園の新規運営受託を開始しています。また、保育士の教育カリキュラムである「ビジョン・ハートナー・オープンカレッジ」を継続開講し、より一層の保育の質の向上に努めております。 以上の結果、育児事業の売上高は426億63百万円(前期比8.5%増)となりました。

ヘルスケア事業



ヘルスケア事業ではグループにおける事業運営体制を強化してまいりました。介護用品ブランド「ハビナス」は、課題でありました連結子会社ビジョンタヒラ株式会社とのブランド統合、商品統廃合も順調に進捗し、新商品として「尿とりパッド長時間用・夜用 ワイドタイプ」「歯みがきティッシュ」等を発売しております。また、昨年に立ち上げた老化予防用品新ブランド「リクープ」では、「負担軽減サポーター」シリーズの商品拡充を行うと共に、新商品として口腔清涼商品「お口さわやかタブレット うるおいプラス」等を発売いたしました。専用カタログをリニューアルし、専用の売り場であるリクープコーナーの設置も促進しております。加えて、ブランド認知を高める活動としてイベントを積極的に開催し、ご好評いただいております。 以上の結果、売上高は64億22百万円(前期比3.1%増)となりました。

その他事業



その他事業では、マタニティのインナーウェアを製造販売する連結子会社ビジョンウィル株式会社の業績拡大、および、妊娠・出産・育児期の栄養補助食品であるサプリメントのラインアップ増強、さらには、中国における女性向け用品の発売等により順調に業績を伸ばしています。 以上の結果、売上高は40億500百万円(前期比8.6%増)となりました。

● 取扱商品／サービス

● 授乳関連用品

哺乳びん
乳首
哺乳びん用洗剤
哺乳びん消毒剤
哺乳びんケース
哺乳びん洗浄用品
母乳パッド
母乳バック
さく乳器



● 離乳関連用品

マグマグ
調理用品
ベビー食器・食具
エプロン
ベビーフード
ベビー飲料



● 介護用品・老化予防用品

介護用品	老化予防用品
大人用紙おむつ	防水シート
尿とりパッド	おしりふき
快適パッド	からだふき
おむつカバー	尿器
吸収パンツ	シャンプー
快適パンツ	清拭料
	消臭用品
	食器・食具
	食事用エプロン
	口腔衛生用品
	歩行補助器
	介護用ベッド

● 女性ケア用品

サプリメント
マタニティ
インナーウェア



●スキンケア用品

ソープ
シャンプー
オイル
ローション
沐浴料
UVケア
パウダー
おしりナップ
ウエットティシュ



●子育て支援サービス

保育サービス
事業所内保育
運営受託
託児
ベビーシッター
サービス
幼児教育サービス



●その他ベビー関連用品

綿棒
つめきり
ヘアケア
体温計
はな吸い器
クールまくら
ベビー医薬品
乳歯ブラシ
歯みがき
温湿度計
湯温計
セーフティグッズ
おしゃぶり
トイ
ベビースユーズ



●介護支援サービス



栃木県下において事業展開

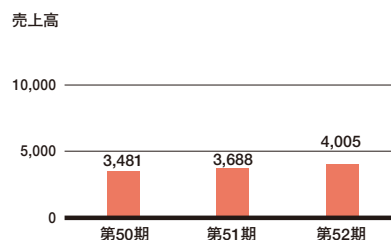
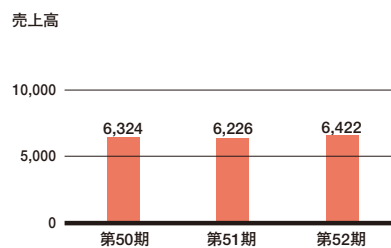
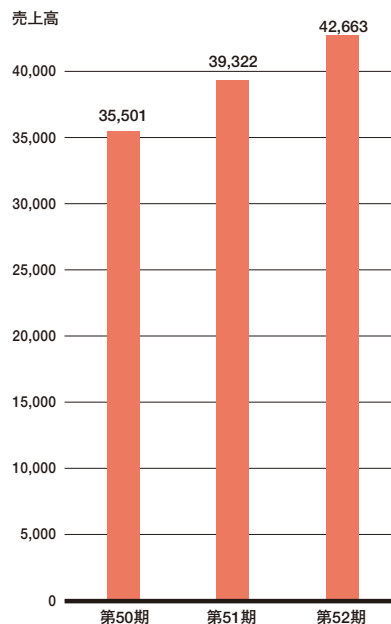
●その他



一般用ウエットティシュ、その他

●売上高の推移

(百万円)

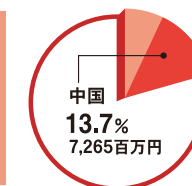


●地域別状況 海外売上高 178億47百万円 (海外比率 33.6%)

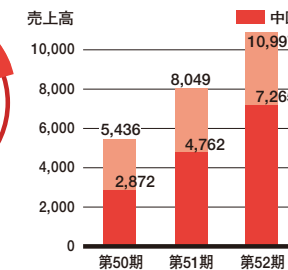
●地域区分

東アジア

中国(含香港)
韓国
シンガポール他



20.7%
10,997百万円

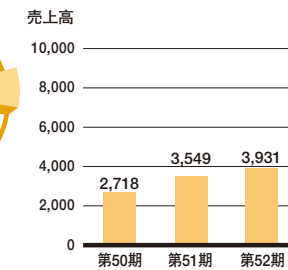


北米

アメリカ
カナダ 他



7.4%
3,931百万円

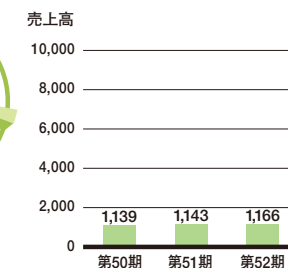


中近東

アラブ首長国
連邦 他



2.2%
1,166百万円

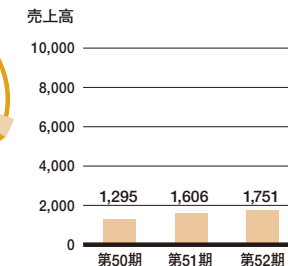


その他

ヨーロッパ
オセアニア
中南米 他



3.3%
1,751百万円



ピジョングループは、ボーダーレスな市場を舞台に、グローバル化を進めています！ 経営環境の変化に対応し、第三次中期経営計画にそった事業展開を推進しています

第三次中期経営計画、初年度の進捗状況のご報告

第三次中期経営計画の初年度である第52期は、中国・北米を中心とした海外事業が好調に推移したことや経費削減が奏功し、売上・利益ともに当初の計画を大きく上回りました。なお、中間期末における通期業績予想の上方修正後の修正計画数値に対しても、急激な為替の変動の影響により当初計画(105円/ドル)からの乖離による売上高の減少により、若干、目標未達成となったものの、収益関連指標は全て目標をクリアできました。ピジョン・グループの事業の安定性・堅実さを実感する結果となりました。

1 重点課題への具体的な取り組み状況

1 育児用品および女性ケア商品事業のグローバル化推進について

●海外事業

中国、米国をはじめ各エリアにて売上高は円高の影響を受けつつも前年実績を上回った。→ピジョングループの成長ドライバーとして経営資源を重点投入。ブランドロイヤルティの強化・浸透を図る。

- 中国**
 - 新工場(上海市青浦工業園区)でのスキンケア・トイレタリー商品は順調に生産を拡大、2期工事計画も具体化
 - 小売店頭のピジョンコーナー展開や地方都市への市場拡大が進捗
 - 中国北方エリアの事業拡大に伴い北京に営業拠点を開設(平成20年9月)

- 北米**
 - 米国の景気減速のなかで母乳育児関連用品は順調に推移

- 新規市場**
 - インドに駐在員事務所を開設(平成20年12月)

2 国内既存事業の再強化と新規事業の育成について

●育児用品事業

年度後半の急速な景気後退の影響もあり、売上高は前年実績を下回る。

- 新商品 乳歯ケア「ジェル状歯みがきぶちキッズ」
- ダイレクト・コミュニケーションに注力 → 「マタニティ・イベント」などにて妊娠・出産・育児シーンの女性を応援
- 「ピジョンインフォ」(クチコミコミュニティサイト) → 会員数40万人超へ

●子育て支援事業

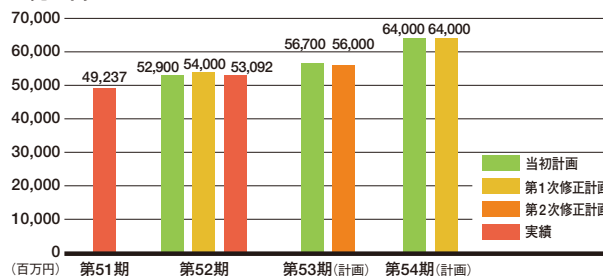
- 新規7園の事業所内保育施設の運営受託
- 保育士教育カリキュラムの継続

●ヘルスケア事業

- 「ハビナス」ブランド(介護用品) 「リクープ」ブランド(老化予防用品)
- 新商品「歯みがきティッシュ」等 ●新商品「負担軽減サポーターシリーズ」
- ブランド統合 「お口さわやかタブレット うるおいプラス」
- (ピジョンと旧タヒラブランドの専用カタログを
ハビナスへの統合) 発行し、商品数・情報量を拡充
- ブランド育成・定着 → リクープコーナー設置促進

2 第三次中間経営計画の進捗状況(含:計画修正の経緯)

■売上高

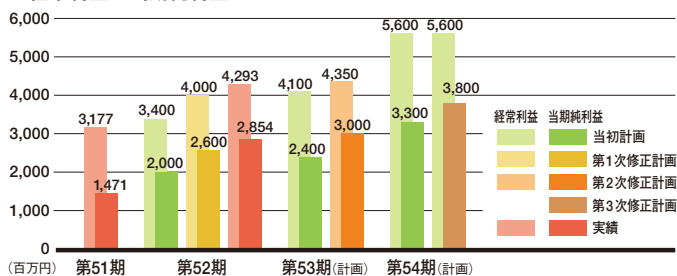


※1「当初計画」の数値は、第三次中期経営計画策定当初の計画数値です。

※2「第1次修正計画」の数値は、第52期中間決算発表時点での業績予想修正後の数値です。

※3「第2次修正計画」の数値は、第52期通期決算発表時点での業績予想数値です。

■経常利益・当期純利益



※4「第3次修正計画」の数値は、海外子会社の進出先国等での優遇税制の適用拡大による税負担率の低下が見込まれることにより、第52期期末決算発表時点で当期純利益の見直しを行ったものです。

最終目標の達成を目指し、今期は“仕込みの年”に！

第三次中期経営計画「GLOBAL Companyへの飛躍」の2年目として、その基本方針に基づき重点課題に挑戦する“仕込みの年”と位置付けています。

第53期の重点課題

1 育児用品および女性ケア商品事業のグローバル化推進

グループ成長のドライバーとして経営資源を重点投入。海外市場におけるブランドロイヤルティの強化・浸透を目指します。

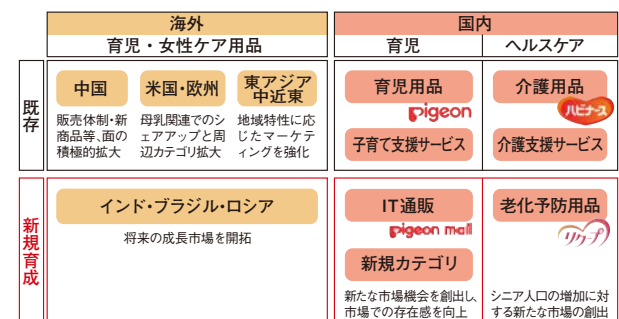
- 中国**
 - インフレ、景気減速の影響は少なく、継続的に伸長の見込み
 - 更なる販売基盤の整備・生産拠点の拡充
- 北米**
 - 母乳育児関連用品市場は継続的に伸長の見込み
 - 母乳関連用品分野での高シェア維持および拡大
- 新規市場**
 - インド駐在員事務所(ムンバイ)による情報収集・ブランド構築

2 国内既存事業の再強化と新規事業の育成

景気低迷に伴い個人消費に回復の兆しがない環境下で、スピードを持った施策展開による既存事業の強化を推進します。

- 育児用品事業** 新規事業育成、ダイレクト・コミュニケーション強化
- IT事業** 「ビジョンモール」(通販サイト)、「ピジョンインフォ」に注力
- 子育て支援事業** 保育士教育カリキュラムの充実、サービス内容の拡充により人材・サービスの両面での品質を強化
- ヘルスケア事業** 販売力、マーケティング力の強化、「ハビナス」へのブランド統合、「リクープ」の商品アイテムの拡充やリクープコーナー展開・拡充

■既存事業の強化と新規事業の育成の全体図



■ 連結財務ハイライト

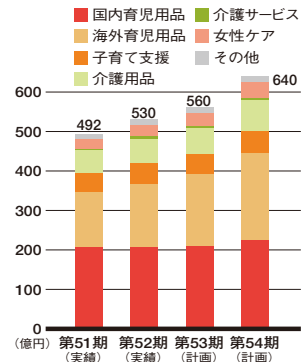
第三次中期経営計画の達成に向けて！

GLOBAL Companyへの飛躍 ～チャレンジ、そして自立～

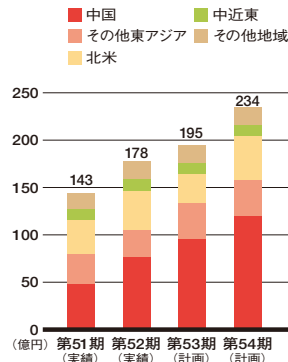
最終年度目標数値(第54期)

売上高 **640 億円** 営業利益率 **9.1 %**
R O E **12.0 %** 総還元性向 **50.0 %**

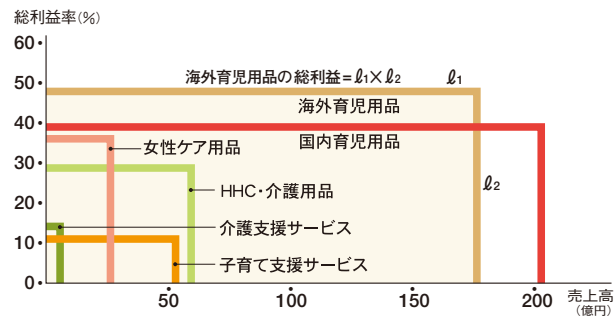
■ 事業セグメント別 売上実績・計画



■ 海外地域別 売上実績・計画

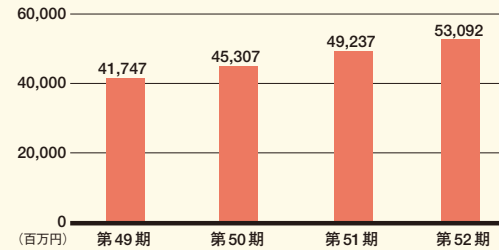


■ ビジョングループの収益源泉と事業ポートフォリオ (第52期実績ベース)

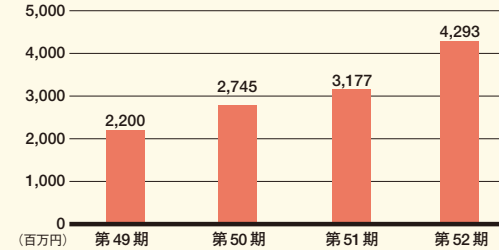


●ビジョングループの収益の源泉としての事業ポートフォリオをグラフで表しています。タテ軸が総利益率で、各事業の収益性を示しています。ヨコ軸が売上高で、各事業の規模を示しています。
●それぞれの面積が総利益の大きさの割合を示しており、海外育児用品が規模と収益性を兼ね備えたビジョングループの成長のエンジンであることや、国内育児用品がグループの中核事業として規模と収益性のバランスがとれていることが分かります。

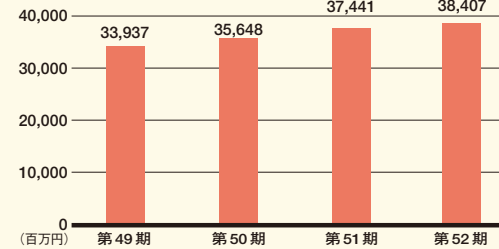
■ 売上高



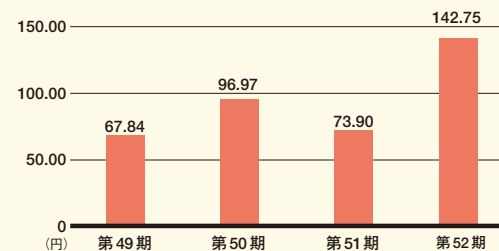
■ 経常利益



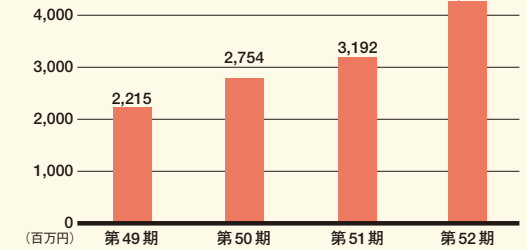
■ 総資産



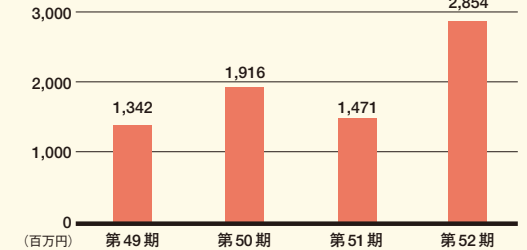
■ 1株当たり純利益



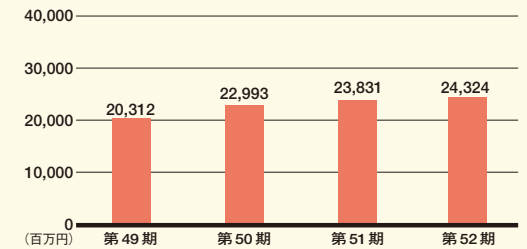
■ 営業利益



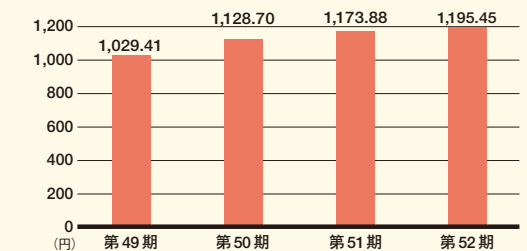
■ 当期純利益



■ 純資産



■ 1株当たり純資産額



■連結財務諸表

※百万円未満は切り捨てて表示しています。

■連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第52期末 平成21年1月31日現在	第51期末 平成20年1月31日現在	増減
資産の部			
流動資産	21,630	19,395	2,235
固定資産	16,777	18,045	△ 1,268
資産合計	38,407	37,441	966
負債の部			
流動負債	11,243	12,065	△ 822
固定負債	2,839	1,544	1,295
負債合計	14,083	13,610	473
純資産の部			
株主資本	25,421	23,132	2,289
資本金	5,199	5,199	-
資本剰余金	5,180	5,167	12
利益剰余金	15,484	13,389	2,095
自己株式	△ 442	△ 624	181
評価・換算差額等	△ 1,493	236	△ 1,730
その他有価証券評価差額金	△ 0	△ 5	5
為替換算調整勘定	△ 1,493	242	△ 1,735
少数株主持分	396	462	△ 65
純資産合計	24,324	23,831	493
負債純資産合計	38,407	37,441	966
1株当たり純資産額(円)	1,195.45	1,173.88	21.57

■連結株主資本等変動計算書 第52期(平成20年2月1日から平成21年1月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成20年1月31日残高	5,199	5,167	13,389	△ 624	23,132	△ 5	242	236	462	23,831
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△ 759	—	△ 759	—	—	—	—	△ 759
当期純利益	—	—	2,854	—	2,854	—	—	—	—	2,854
自己株式の処分	—	12	—	188	201	—	—	—	—	201
自己株式の取得	—	—	—	△ 7	△ 7	—	—	—	—	△ 7
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	5	△ 1,735	△ 1,730	△ 65	△ 1,795
連結会計年度中の変動額合計	—	12	2,095	181	2,289	5	△ 1,735	△ 1,730	△ 65	493
平成21年1月31日残高	5,199	5,180	15,484	△ 442	25,421	△ 0	△ 1,493	△ 1,493	396	24,324

■連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

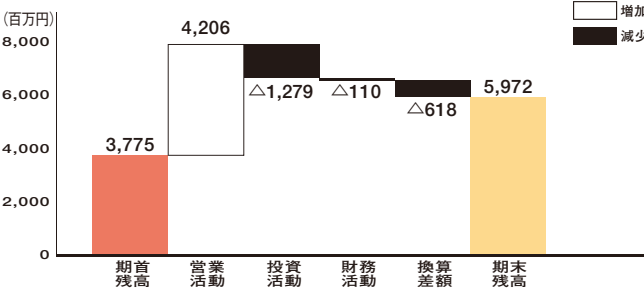
科目	第52期 平成20年2月1日から 平成21年1月31日まで	第51期 平成19年2月1日から 平成20年1月31日まで	増減
売上高	53,092	49,237	3,854
売上原価	32,927	30,597	2,330
販売費及び一般管理費	15,895	15,447	447
営業利益	4,269	3,192	1,076
営業外収益	406	404	2
営業外費用	381	419	△ 37
経常利益	4,293	3,177	1,116
特別利益	16	120	△ 104
特別損失	289	497	△ 207
税金等調整前当期純利益	4,020	2,800	1,219
法人税、住民税及び事業税	1,041	971	△ 217
法人税等調整額	△ 26	261	54
少数株主利益	150	96	54
当期純利益	2,854	1,471	1,383
1株当たり当期純利益(円)	142.75	73.90	68.85

■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	第52期 平成20年2月1日から 平成21年1月31日まで	第51期 平成19年2月1日から 平成20年1月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,206	3,707
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,279	△ 2,443
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 110	△ 172
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 618	3
現金及び現金同等物の増減額	2,197	1,095
現金及び現金同等物の期首残高	3,775	2,680
現金及び現金同等物の期末残高	5,972	3,775

■連結キャッシュ・フロー推移グラフ



POINT-1 連結財務諸表のポイント

■連結貸借対照表

〔資産〕

流動資産は、前期末と比較して22億35百万円増加し、固定資産は12億68百万円減少となりました。流動資産の増加は、現金および預金が16億22百万円増加、受取手形および売掛金が4億17百万円増加、たな卸資産が2億7百万円増加したことによるものです。固定資産の減少は、建設仮勘定が3億90百万円減少、機械装置および運搬具が3億67百万円減少、のれんが91百万円減少したことによるものです。

〔負債〕

流動負債は、前期末と比較して8億22百万円減少し、固定負債は12億95百万円増加となりました。流動負債の減少の主な要因は、1年以内返済予定長期借入金金が10億40百万円減少、支払手形および買掛金が5億41百万円減少したことによるものです。固定負債の増加の主な要因は、長期借入金13億19百万円を新たに借り入れたことによるものです。

〔純資産〕

純資産は、前期末と比較して4億93百万円増加となりました。主な要因は、利益剰余金が20億95百万円増加したことによるものです。

■個別財務諸表

※百万円未満は切り捨てて表示しています。

POINT-2 連結財務諸表のポイント

■連結損益計算書

〔連結売上高〕

国内育児用品事業の売上高が前年実績割れとなりましたが、海外育児用品事業の売上高が、円高の影響もありましたが前年実績を上回った等のため育児用品事業は、前期比8.5％増となりました。ヘルスケア事業も積極的な展開により前期比3.1％増となり、その他事業においても前期比8.6％増となったことにより連結売上高は530億92百万円となり、前期比7.8％増となりました。

〔連結経常利益〕

連結売上高が、前期比7.8％増加し、また、販管費の増加を抑制したことから営業利益は、前期比33.7％増の大幅増加となりました。その結果、連結経常利益は、42億93百万円となり前期比35.1％の増加となりました。

〔連結純利益〕

連結当期純利益は、株価下落の影響による有価証券評価損や商品自主回収関連費用が特別損失に計上されましたが、前期に計上された減損損失等がなくなったこと等により、前期比94.0％増の28億54百万円となりました。

■連結キャッシュ・フロー計算書

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動による現金および現金同等物(以下「資金」という)の増加は、42億6百万円(前期比13.4％増)となりました。これは、税金等調整前当期純利益が40億20百万円(前期比43.6％増)、減価償却費が16億26百万円(前期比5.1％増)となったものの、売上債権の増加額が12億67百万円(前期比370.6％増)、法人税等の支払額が9億32百万円(前期比18.3％減)となったこと等によるものです。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動による資金の減少は、12億79百万円(前期比47.6％減)となりました。これは定期預金の払戻による収入が4億71百万円となったこと等による増加要因はあったものの、有形固定資産の取得による支出が13億73百万円(前期比20.0％減)となったこと等によるものです。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動による資金の減少は、1億10百万円(前期比35.7％減)となりました。これは、長期・短期の借入および返済による資金の増加が5億6百万円(前期比25.2％増)、配当金の支払額が7億67百万円(前期比37.8％増)となったこと等によるものです。

■貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第52期末 平成21年1月31日現在	第51期末 平成20年1月31日現在	増減
資産の部			
流動資産	12,282	11,307	975
固定資産	15,745	15,951	△ 205
資産合計	28,028	27,258	769
負債の部			
流動負債	7,479	8,016	△ 536
固定負債	1,671	754	916
負債合計	9,151	8,771	379
純資産の部			
株主資本	18,877	18,492	384
資本金	5,199	5,199	-
資本剰余金	5,180	5,167	12
利益剰余金	8,940	8,750	190
自己株式	△ 442	△ 624	181
評価・換算差額等	△ 0	△ 5	5
その他有価証券評価差額金	△ 0	△ 5	5
純資産合計	18,877	18,487	389
負債純資産合計	28,028	27,258	769
1株当たり純資産額(円)	943.11	928.66	14.45

■株主資本等変動計算書 第52期(平成20年2月1日から平成21年1月31日まで)

(単位:百万円)

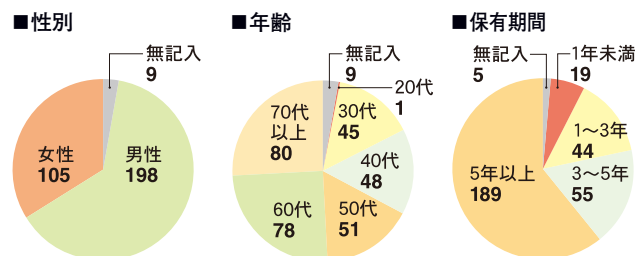
	株主資本											評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金					自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計					
平成20年1月31日残高	5,199	5,133	33	5,167	332	862	2,020	5,535	8,750	△624	18,492	△5	△5	18,487
事業年度中の変動額														
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—	△759	△759	—	△759	—	—	△759
固定資産圧縮積立金取崩	—	—	—	—	—	△24	—	24	—	—	—	—	—	—
当期純利益	—	—	—	—	—	—	—	949	949	—	949	—	—	949
自己株式の処分	—	—	12	12	—	—	—	—	—	188	201	—	—	201
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△7	△7	—	—	△7
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	5	5
事業年度中の変動額合計	—	—	12	12	—	△24	—	214	190	181	384	5	5	389
平成21年1月31日残高	5,199	5,133	46	5,180	332	838	2,020	5,749	8,940	△442	18,877	△0	△0	18,877



<株主アンケート>結果のご報告

昨年10月に第52期中間報告書のご送付とともに実施いたしました<株主アンケート>につきましては、312名の株主様からご回答ならびに貴重なご意見をいただきました。皆様からいただきました数々のご意見は、今後の経営方針やIR活動の参考にさせていただきたいと考えております。なお、アンケート結果の概要を下記のとおりご報告いたします。

① 回答いただいた株主様の属性 (単位:人)

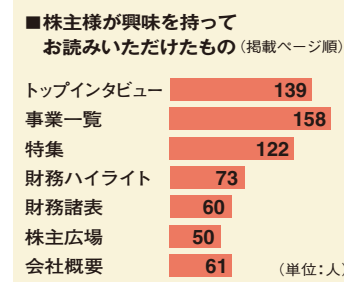


② 報告書についての感想

- 「分かりやすい」とのご感想を約80%の回答者の方からお寄せいただき、私どもにとって、今後の一層の内容充実に向けて大いに励みとなりました。
- 4%の方から「分かりにくい」とのご感想もございましたので、分かりやすい内容を目指しての改善に努めたいと考えております。

③ 前号からのサイズ変更および記事内容へのご関心について

- サイズ変更については、およそ65%の回答者の方から「大きい方が良い」との評価をいただきました。今後も継続して見やすく分かりやすい報告書となるよう、努力してまいります。



- 興味を持っていた記事としては、トップインタビュー、事業一覧、特集の3つが群を抜いています。この傾向は、「分かりやすい」、「どちらとも言えない」、「分かりにくい」のいずれのご感想をいただいた方にも共通するものです。

- 今後も上位の3つの記事を中心に、私どもがお伝えしたい内容を株主の皆様にご理解いただけるよう努めてまいります。
- トップインタビューの内容にも高い関心をお持ちいただき、報告書の柱としての経営トップのメッセージをダイレクトにお届けできたものと思います。

④ 報告書に期待する点

- ページが大きくなったので、ひと目で内容が見やすくなった。
- 今回の「特集企画」のような中期経営計画のフォローを実施して欲しい。
- 社長のメッセージ、セグメント別の分析、中期計画ととても分かりやすい報告書です。他社の見本としたいくらい。
- 成長戦略は参考になりました。もっと充実して欲しい。
- 事業一覧のページが見やすくなった。また、誌面全体が見やすくなったように思う。
- 出来れば活字をもう少し大きくして欲しい。
- 英文の見出しは控えて欲しい。言葉の意味が分かりません。

⑤ 当社(グループ)に対する主なご意見、ご要望

- 赤ちゃんから長寿者まで対象が幅広く、その上女性に優しいので大好きです。
- ビジョン美和の森事業は素晴らしい発想と実行力です。更なる充実を祈ります。本事業に感動し株主になりました。
- 今後も健全な経営と商品の安全性の維持・発展を期待します。
- よりよい製品づくりに頑張ってください。子供がお世話になりました。
- 赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーンに参加したことをきっかけに株を購入しました。引き続きCSRの推進をお願いします。

⑥ いただきました皆様のご意見に対する当社(グループ)の 施策対応および今後の対応予定について

- 報告書の英語表記を最小限にいたしました。
- 主要ページの文字サイズを少し大きくしました。
- 「社員、事業所の紹介」記事は、今後企画してまいりたいと考えています。

<株主アンケート実施についてのお願い>

左記にてご報告のとおり、前回のアンケートの結果、株主様より大変有意義なご意見を多数お寄せいただきましたので、今号でも引き続きアンケートを実施させていただくことといたしました。

つきましては、大変お手数ではございますが、同封いたしました「株主アンケートはがき」にご記入の上、ご投函くださいますようお願いいたします。(切手は不要です)

なお、アンケートの結果につきましては、本年10月に発行予定の次号(第53期 中間報告書)においてご報告させていただく予定です。

アンケート内容

Q1 今回の報告書をご覧になってのご感想をお聞かせください。

1. 内容が分かりやすかった
2. 内容が分かりにくかった
3. どちらとも言えない

Q2 今回の報告書の記載内容のうち、特に興味を持ってお読み いただけたものを3つお選びください。

1. トップインタビュー
2. 事業一覧
3. 特集企画
4. 財務ハイライト
5. 財務諸表
6. 株主広場
7. 会社概要

Q3 あなた、またはご家族の方がビジョンの製品を 利用したことがありますか(していますか)?

1. 大変よく利用した(している)
2. かなり利用した(している)
3. 時々利用した(している)
4. めったに利用しなかった
5. 利用したことがない

Q4 株式への投資判断の際、参考にする情報収集手段は何でしょうか?(複数回答可)

1. 報告書
2. 証券会社の担当者
3. インターネット(一般情報)
4. 当該企業のホームページ
5. 会社四季報・会社情報
6. 証券専門雑誌
7. 経済雑誌(東洋経済等)
8. 専門書籍
9. 証券専門新聞(日経含む)
10. 一般新聞(読売、朝日ほか)
11. その他

Q5 今後、報告書に期待したい点、あるいは、より内容の充実を 望まれることをお書きください。

Q6 当社(グループ)に対するご意見、ご要望をお聞かせください。

■ 会社概要

- 設立年月日 昭和32年8月15日
- 事業内容 育児・マタニティ・女性ケア・ホームヘルスケア・介護用品等の製造、販売および輸出入ならびに保育事業
- 資本金 5,199,597千円
- 従業員数 849名（※正社員および契約社員の人数です）
- 本社 〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4番4号
TEL 03-3661-4200（代表）

■役員（平成21年4月28日現在）

- 取締役最高顧問 仲田 洋一
- 代表取締役会長 松村 誠一
- 代表取締役社長 大越 昭夫
- 専務取締役 佐久間 隆
（経営企画本部兼経理財務本部兼人事総務本部兼お客様相談室兼監査室担当）
- 常務取締役 太田 和比古
（国内ベビー・ママ事業本部兼HHC・介護事業本部兼子育て支援事業本部担当）
- 取締役 山下 茂（海外事業本部長）
- 取締役 甘利 和久（開発本部長兼ロジスティクス本部担当）
- 常勤監査役 大藪 克実
- 常勤監査役 田中 公義
- 監査役 西山 茂
- 監査役 出澤 秀二
- 執行役員 高坂 功（経営企画本部長）
- 執行役員 高島 康（経理財務本部長）
- 執行役員 板倉 正（人事総務本部長）
- 執行役員 湯田 博毅（国内ベビー・ママ事業本部長）
- 執行役員 倉知 康典（国内ベビー・ママ事業本部副本部長）
- 執行役員 岩本 忍（ロジスティクス本部長）
- 執行役員 北澤 憲政（海外事業本部副本部長）
- 執行役員 赤松 栄治（子育て支援事業本部長）
- 執行役員 石上 光志（HHC・介護事業本部長）

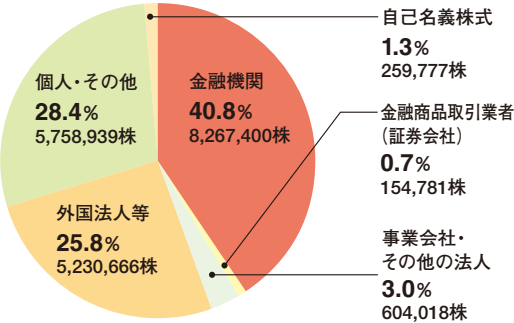
（注）監査役 西山 茂および出澤 秀二の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■株式の状況（平成21年1月31日現在）

- 発行可能株式総数…………… 60,000,000株
- 発行済株式の総数…………… 20,275,581株
- 株主数…………… 6,073名
- 自己株式…………… 259,777株

大株主（上位10名）	持株数(千株)	持株比率(%)
仲田洋一	3,087	15.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,769	13.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,574	12.70
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	1,457	7.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	569	2.81
日興シティ信託銀行株式会社(投信口)	484	2.39
ザチエースマンハッタンバンク エヌエイロンドンエスエルオムニバスアカウント	377	1.86
ビジョン社員持株会	363	1.79
ビービーエイチフォーバリアブル インシュランスプロダクツエフディー スリーエムアイディーキャップポート	343	1.69
日本生命保険相互会社	228	1.13

■株式分布状況（所有者別）



■主要事業所

- 事業所 茨城県稲敷郡阿見町
東京都中野区
- 物流センター 茨城県稲敷郡阿見町
茨城県常陸太田市
兵庫県神崎郡神河町
- 研究所 茨城県つくばみらい市
- 営業拠点 札幌・仙台・大宮・東京・名古屋・大阪・広島・福岡 他1ヵ所

■次の15社を連結の対象にしています。

- ピジョンホームプロダクツ(株) ●ピジョンウィル(株)
- ピジョンハーツ(株) ●PHP兵庫(株) ●PHP茨城(株)
- ピジョンタヒラ(株) ●ピジョン真中(株)
- PIGEON SINGAPORE PTE.LTD.
- PIGEON (SHANGHAI) CO.,LTD.
- LANSINOH LABORATORIES,INC.
- PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO.,LTD.
- PIGEON LAND (SHANGHAI) CO.,LTD.
- SHANGHAI CHANGNING PIGEON LAND EDUCATION TRAINING CENTER.
- PIGEON INDUSTRIES (THAILAND) CO.,LTD.
- THAI PIGEON CO.,LTD.

■次の2社について持分法を適用しています。

- PT.PIGEON INDONESIA ●クラフレックス茨城(株)

株主メモ

証券コード	7956
事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
期末配当金受領 株主確定日	1月31日
中間配当金受領 株主確定日	7月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先 (お問合せ先) (郵便物送付先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料 平日9:00～17:00)
(ホームページ)	http://www.tr.mufg.jp/daikou/
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 http://www.pigeon.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子 公告によることができない場合は、日 本経済新聞に掲載して行います。

〈ご案内〉

● 株式に関する住所変更等のお問合せおよび届出について

株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。

口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

● 特別口座について

特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。

● 未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

● 配当金計算書について

本年から、配当金の口座振込をご指定の方と同様に「配当金領収証」により配当金をお受取りになられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。



表紙の絵について

当社は、未来の科学の夢絵画展「幼稚園の部」の発明協会会長賞並びに優秀賞を受賞された幼稚園に対して、当社創業者の故仲田祐一が幼児の創造性育成のために社団法人発明協会へ寄贈した基金により「仲田祐一奨励金」を毎年協会を通して贈呈しております。表紙の絵は同協会のご協力を得て掲載しているものです。

● インターネットホームページでもIR情報を掲載しています。



ビジョン トップページ

ビジョン トップページ

<http://www.pigeon.co.jp/>

IR情報トップページ

<http://www.pigeon.co.jp/ir/ir/index.html>



IR情報トップページ

将来予測に関する記述についての注意事項

本報告書の将来予測に関する記述および客観的事実以外の記述に関しましては当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願い致します。実際の業績は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レートなどにかかわる様々な要因により、記述されている事業予測とは異なる可能性があることをご承知おきください。



この報告書は環境保全のため、FSCミックス認証紙と、環境に優しい大豆インキを使用して印刷するとともに、針金を使わないエコ製本を採用しています。